

新型コロナウイルスの感染拡大防止に御協力をお願いします

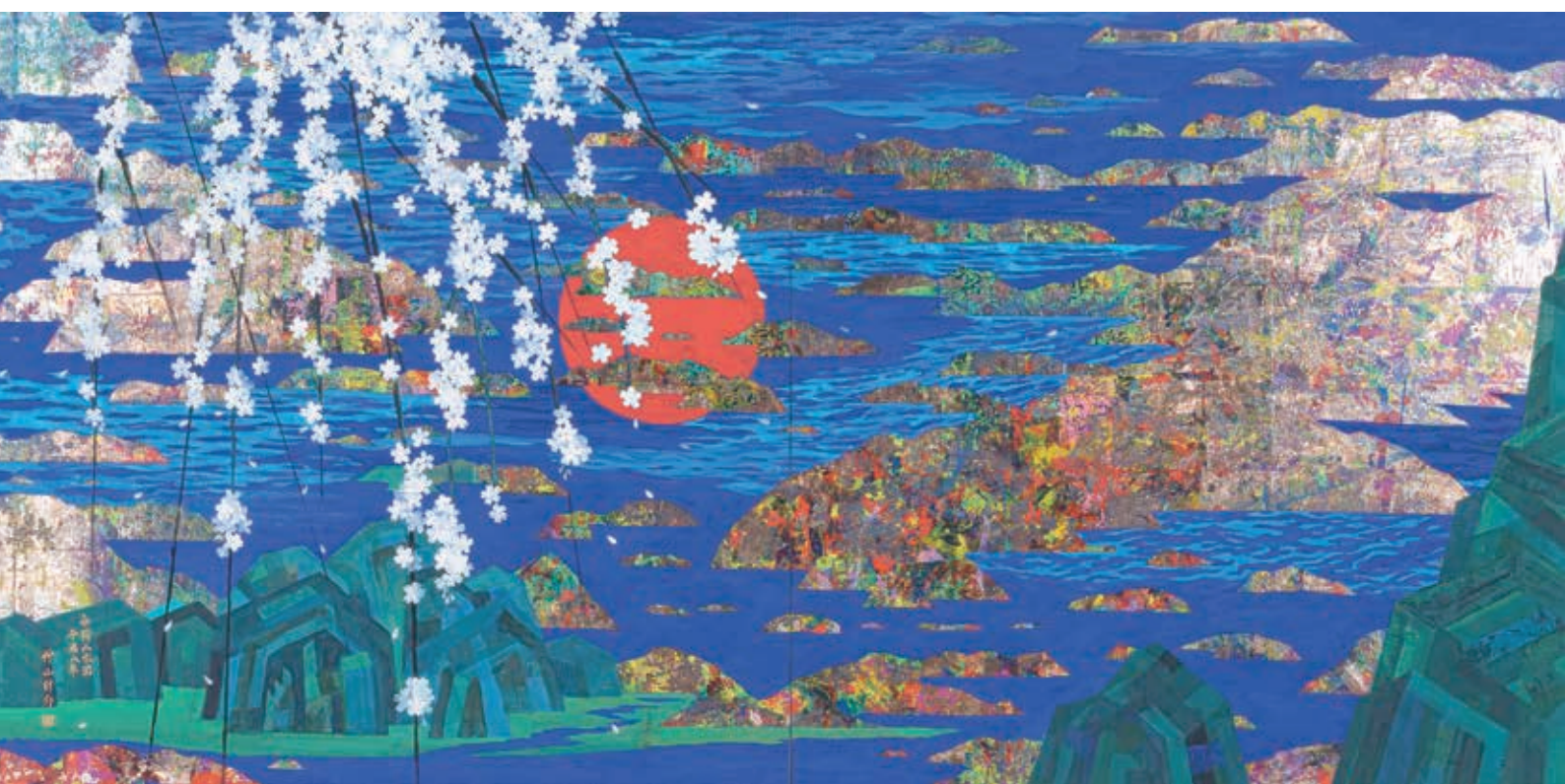
- ・手洗い・うがいを励行しましょう
- ・密閉、密集、密接の3つの密を避けましょう
- ・感染リスクの高い地域への移動を避けましょう

はままつ 市議会だより

第183号

令和2年5月5日

身近な市議会を目指して



もくじ contents

◎ 2月定例会のあらまし	P2
◎ 行政区再編に関する協議	P3
◎ 常任委員会の状況	P4
◎ 代表質問	P6
◎ 一般質問	P7
◎ 特別委員会の活動状況	P10

しゅんやうさんすい
「春陽山水」 日本画

なかやまけいすけ

1996年 仲山計介 作

～浜松市美術館 「仲山計介展」より～

市議会のくわしい情報、会議の映像は
ホームページで公開しています

浜松市議会

検索

スマートフォンはこちらから →



2月定例会 令和2年度予算 総額6342億円を可決

多様性とイノベーションで理想の未来を創造する施策を重点化

2月定例会は、2月19日から3月24日までの35日間にわたって開催しました。本定例会では、市長提出の元年度関係議案25件や2年度関係議案43件、人事案件2件のほか、議会提出の意見書など5件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

可決した主な議案

令和2年度一般会計予算 総額3495億円

- ◆先端技術やデータ活用などによるデジタル・スマートシティ推進事業の実施 4080万円
- ◆若年がん患者支援として、生殖機能を温存するための治療費や医療用補整具購入費などを助成 1192万円
- ◆浜北斎場に火葬炉を4基増設するなどの拡張工事 12億4158万円
- ◆令和2年8月1日以降に生まれた乳児を対象にロタウイルスワクチン予防接種を公費助成 9403万円



浜北斎場拡張後のイメージ



フラワーパーク開園50周年のためリニューアルされた大噴水

- ◆^{※1}高効率・高収益なスマート農業の拡大・普及のため、先進栽培技術設備の導入へ助成 3000万円
 - ◆市内協働センターのうち34施設に太陽光発電・蓄電池設備・省エネ設備を導入 2億円
 - ◆フラワーパーク開園50周年関連事業の実施と園内施設の改修 2億3641万円
 - ◆放課後児童会拡充のための施設整備と既存施設の改修 3億8778万円
- など

舞阪表浜東駐車場の整備

- 浜松市舞阪表浜東駐車場条例の制定
ビーチ・マリンスポーツなどを楽しむ海岸利用者の利便性向上のため、無料駐車場を整備します。

辺地に係る公共的施設(林道)の総合的整備

- 辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定
北区引佐町渋川の一部、天竜区熊の一部における林道を整備し、持続可能な森林経営を図ります。

24日	23日	16日	13日	12日	11日	10日	9日	6日	〔3月〕	27日	26日	20日	19日	14日	12日	6日	〔2月〕
採決・2月定例会閉会	環境経済委員会 調査特別委員会	大形公共施設建設 議会運営委員会	制度調査特別委員会	行財政改革・大都市 各常任委員会	各常任委員会	各常任委員会	各常任委員会	地方創生調査特別委員会 議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	各常任委員会	各常任委員会	各常任委員会	各常任委員会	各常任委員会	各常任委員会

議会活動の経過

今後の行政区再編に関する協議

協議の経過はこちらから

区制度協議の経過

検索



市議会では、区の再編を進めるに当たっては、市民の皆さんの理解が得られるよう、わかりやすく丁寧に議論を進めていく必要があると考えています。

当局からは、天竜区を北遠、それ以外の6区を西遠とする2区案が示されましたが、市議会ではこの案にかかわらず、まず区の再編が必要か不要かの結論を遅くとも令和2年中に出し、再編が必要となったら、具体的な再編案を協議していきます。

今後は下記の行程により協議を進めていきます。

【行程1】 合併から現在までを確認します。

協議済

市町村合併から政令指定都市移行を経て、現在までの行政組織・権限・制度などの変遷について協議しました。※令和2年2月で終了

【行程2】 区のあり方について協議します。

協議中

区の役割、区のあるべき姿、市の各種計画（将来ビジョン）と区のかかわり、最適な行政組織などについて協議しています。

【行程3】 区再編について協議し、『再編が必要・不要』の結論を遅くとも令和2年12月末までに決定します。

① 区の現状

区制施行によってよくなったことや、区の課題の整理（再編以外では解決できない問題と、再編しなくても解決できるものの項目分け）

② 区再編のメリット・デメリット

削減額の正確な検証、市民サービス・行政事務・職員数と業務量についての検証

行程3までの協議の結果、再編が必要となった場合

【行程4】 具体的な区再編案を検討します。

① 区割り案、適正な行政拠点配置の検討

② 再編後の具体的な組織・職員数・財源・行政サービス・住民自治の姿の検討

市議会では、市民の皆さんにもわかりやすいように、丁寧に議論をスピード感を持って進めていきます。

可決した意見書

意見書とは、国や県などが実施すべき事項について、議会の意思を意見としてまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに対して提出するものです。

◆ 困難を抱える女性への支援制度の確立を求める意見書

◆ 外国語教科化に伴う指導体制の充実のための財政措置に関する意見書

◆ 中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書

◆ ヘイトスピーチ解消法の対象拡大を求める意見書

常任委員会の状況

3月12日、13日に開催した各委員会での審査の概要です

厚生保健委員会

●コミュニティソーシャルワーカー配置支援事業について

●**質疑** 増員する2人のコミュニティソーシャルワーカーの配置に対する考えは。

●**答弁** 東区では相談件数に対して人員が不足しているため、1人を増員する。また、現在、市内を南部と北部のエリアに分けて地域リーダーを1人ずつ配置していることにより、コミュニティソーシャルワーカー同士の課題の共有や連携が図られている。そこで、地域リーダーをさらに1人増員し、市内全域でより幅広くさまざまな課題を共有しながら取り組んでいく体制の構築を考えている。

●SNSを活用した、若者相談支援事業について

●**質疑** 相談の実施を夏休みと冬休みに限定する理由は。

●**答弁** SNSでの相談をきっかけとして、若者相談支援窓口「わかば」が実施している電話または面談による相談につなげていくことを想定している。そのため、相談者が面談などの時間をとりやすい時期に相談期間を設定するものである。

●児童福祉施設整備助成事業について

●**当局説明** 対象となる児童養護施設の和光寮を改修し、6人ごとに食堂、居間、居室などを整備して、入所児童にとって家庭に近い養

育環境とするものである。
●**質疑** 他の児童養護施設も、同様の改修を進めるのか。
●**答弁** 国は、施設における養護について、より家庭に近い環境において養育することを目指す方針を示しているため、本市もその方針に沿って養育環境の整備に取り組むことを考えている。

市民文教委員会

●マイナンバーカード交付促進事務拡充事業について

●**質疑** マイナンバーカードの交付状況及び2年度の目標交付率は。

●**答弁** 本市の交付率は2年3月13日現在で12%、全国平均は3月1日現在で15・5%である。また、国では4年度中にほとんどの住民がマイナンバーカードを所持することを想定し、2年度の目標交付率を47・1%と示していることから、本市でも国に倣い47・1%に設定している。

●**質疑** カードの交付申請方法として追加される申請時来庁方式のメリットは。

●**答弁** 現在の交付時来庁方式は、郵送やオン

ラインなどで申請し、後日、居住地の区役所で本人確認を受け、カードを受領する必要があった。一方、申請時来庁方式では、窓口での申請時に本人確認を受けておくことで、後日、本人限定郵便にて自宅にカードを受領できることから、区役所だけでなく、企業や商業施設などに職員が出向いて、タブレット端末などで申請を受け付けることも可能となり、市民がより申請をしやすい環境となる。

●**質疑** マイナンバーカードの申請・交付におけるヒューマンエラーによる情報漏えいを防止するため、事務を担当する会計年度任用職員に対して研修などを

行う考えは。
●**答弁** 会計年度任用職員も公務員であり、守秘義務が生じることから、区民生活課が実施する情報の取り扱いに関する研修を受講することとし、情報の取り扱いについては厳格に行っていく。

●**放課後児童会運営支援事業について**

●**質疑** 2年度の放課後児童会の実施箇所は8カ所の増、定員は45人の増となるが、待機児童数の見通しは。
●**答弁** 計149カ所で開設し、定員は6902人を予定しているが、4月1日から開設できない放課後児童会もあることから、2年度よりも待機児童数は多くないと見込んでいる。



児童養護施設(和光寮)

総務委員会

環境経済委員会

建設消防委員会

●デジタル・スマートシティ推進事業について
質疑 スマート社会の形成及び基盤整備事業の中で推進する、浜松版Maas(マース)構想とはどのようなものか。
答弁 国土縮図型都市と言われるとともに、自動車産業、輸送用機器産業などが発展しているという本市の特徴を踏まえた上で、バス・電車・タクシーなど異なる移動手段をつなぎ、さらに移動手段の先にある医療や商業など、いろいろなサービスとの連携を図っていくものである。



外国人学習支援センターでの学習の様子

●外国人学習支援センター運営事業について
当局説明 外国人市民向けに、地域の協働センターにおいて新たに日本語教室を開催するものである。

●海外販路拡大事業について
質疑 開催を想定している区は。
答弁 現在、西区にある外国人学習支援センターを拠点に日本語学習の場を提供しているが、1カ所のみではなく拡充すべきという意見があることを踏まえ、最近在留外国人がふえている浜北区と、外国人の学習の場が手薄であると考えられる南区で、協働センターを1カ所ずつ活用して、日本語学習の場を提供するものである。

●新たに本市の農林水産物及び加工品などの輸出を検討している国は。
答弁 中央アジアの入り口となり得るアゼルバイジャンと、親日国であるウズベキスタンを検討中である。検疫などの課題はあるが、東南アジアも含めて幅広く調査し、進出できるところは積極的に取り組んでいきたい。

●事業承継支援事業について
質疑 どのように事業を進めていくのか。
答弁 まず、市内に本社を置く、経営者が60歳以上の中小企業を対象に事業承継に関するアンケート調査を実施する。そして、その結果により抽出した60社程度に普及員が訪問し

て事業承継を啓発するとともに、専門の相談機関へ結びつけていく。
特定外来生物対策事業について
当局説明 クリハラリスによる市民生活や農林業への被害、生態系への影響を防ぐため、元年度に作成したクリハラリス捕獲プランに基づき、2年度から本格的に捕獲防除を実施するものである。
質疑 目標捕獲数は。
答弁 捕獲プランでは、2年度に6600頭の捕獲を目標としている。なお、市内には現在約1万5000頭いると推測しており、対策を行わないと年間で1.2倍ずつふえ、10年後には10万頭を超えることから、今後3年間で集中的に取り組み、10年以内に根絶していきたいと考えている。

●Net119導入事業について
当局説明 聴覚や言語機能の障がいを持つ人があらかじめ登録すれば、携帯電話端末で119番通報ができるシステムを導入する。
質疑 どのように普及を図るのか。
答弁 福祉関係者、消防防炎関係者の協力を得て広報活動を行う。また、スマートフォンなどで非常に利用できることから、携帯通信事業者の協力を得て、機種更新などの際に周知してもらうなど、幅広く理解が得られる体制を整えていく。
質疑 登録すれば市外にいても通報できるようにするのか。
答弁 本市と同じ事業者のシステムを導入している地域では、通報場所を管轄する消防指

令センターに着信し、対応する。一方、本市と同じ事業者のシステムを導入していない地域では、本市の消防指令センターに着信するため、GPSなどにより速やかに通報場所を特定し、管轄の消防本部と連携して対応を図っていく。なお、現在、総務省消防庁のもと、Net119取扱事業者4社で相互接続ができるよう、6月を目前に接続試験を行う調整が進められている。

●交通事故ワースト1脱出事業について
質疑 予算大幅増の通学路安全対策の内容は。
答弁 大津市で発生した保育園児死傷事故などを受け、要望に基づく歩道の設置や側溝のふたかけなどに加え、交差点改良などに重点的に取り組んでいく。

代表質問

3月9日には、各会派を代表して4人の議員が質問を行いました



自由民主党浜松
戸田 誠

施政方針で市長が描くビジョンは

質問 施政方針にはデジタルファーストが多く盛り込まれているが、市長が描くビジョンはどのようなものか。

答弁 元年10月に行ったデジタルファースト宣言に基づき、AI等先端技術を活用した市民の利便性向上やスマート自治体の基盤づくりを進めるため、デジタル・スマートシティ構想などを策定するほか、AIスピーカーによるサービス提供基盤の整備などに取り組みることとした。



浦川小に引き継がれていく伝統芸能の浦川歌舞伎

イノベーションで支えることで、持続可能な都市づくりが可能となる。総合計画で掲げた「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」の実現に向け、デジタルファーストの考え方に基づく施策を進めていく。

その他の質問

- ① 情報網整備でデジタルファースト推進を
- ② 特別委員会区再編行程への市長の認識は
- ③ 伝統文化の保存・継承のための具体策は



創造浜松
太田 利実保

ヘルスケア産業振興で予防・健康都市実現を

質問 予防・健康都市浜松の実現に向け、浜松ウエルネスプロジェクトが始まるが、実行体制及びヘルスケア産業への支援はどうか。

答弁 浜松ウエルネスプロジェクトでは、地域の推進組織である浜松ウエルネス推進協議会や地域外企業、医療機関などとともに、本市で社会実証事業を展開する浜松ウエルネスラボを組織する。ヘルスケア産業は、はままつ産業イノベーション構想でも成長分野の一つに位置づけており、地域企業やベ

ンチャー企業が行う健康・医療現場のニーズに基づく製品開発に対する補助のほか、実証実験サポート事業を活用した製品やサービスのモニター評価など、健康福祉部と産業部が連携し、さまざまな支援に取り組んでいく。

その他の質問

- ① 森林環境譲与税の有効活用に事業評価を
- ② NPOタクシーが持続可能な制度設計を
- ③ 柔軟な運行形態で地域バス利便性向上を



地域バス(三ヶ日地域のオレンジふれあいバス)



公明党
丸 英之

無償化に伴う保護者などの事務負担の軽減を

質問 幼児教育・保育の無償化に伴い、保護者や事業者新たな事務負担が生じているが、その軽減に向けた取り組みはどうか。

答弁 無償化の実施により、新たな手続や書類の提出が求められることとなり、特に私立幼稚園では、保護者の申請や園児個々の利用に合わせた実績報告が必要となったため、保護者や園の事務負担は増加している。本市では、国が示す標準的な書類や手続方法を踏まえつつ、公金の適正な支出と負担軽減の観点から検討を行い、国が示す2種類の書類を市独自の工夫で1枚にするなど、保護者や園の負担軽減に努めている。今後も保護者や園に丁寧に説明して理解を得るとともに、事務負担の軽減に努めていく。

減の観点から検討を行い、国が示す2種類の書類を市独自の工夫で1枚にするなど、保護者や園の負担軽減に努めている。今後も保護者や園に丁寧に説明して理解を得るとともに、事務負担の軽減に努めていく。

その他の質問

- ① 災害に備え簡易トイレなどの備蓄啓発を
- ② 就職氷河期世代への支援の取り組みは
- ③ 観光資源として浜松城公園の魅力発信を



浜松城



日本共産党浜松市議団
酒井 豊実

新清掃工場の建設事業
計画の変更内容は

質問 天竜区青谷地内に建設中の新清掃工場及び新破砕処理センターは、環境影響調査の結果を受け、当初の建設事業計画が変更されたが、その理由は何か。また、事業費を変更する予定はあるか。

答弁 動植物の保全対象種が多数生育、生息している範囲を回避し、環境を保全するため、造成位置を南へ80メートル移動した。これに伴い、造成地の高さは230メートルから215メートル、面積は14・71ヘクタールから13・12ヘクタールとなっている。



造成が進む新清掃工場建設予定地

また、事業費については、造成位置の変更に加え、地形や土質などを踏まえ、増減額を含めた調査を行い変更していく。なお、変更手続については、PFI事業者との協議の上、5年度内に契約に基づいて行う予定である。

その他の質問

- ① 県と連携して佐久間病院の医師確保を
- ② 養護老人ホームとよおかの存続へ努力を
- ③ スズキ(株)からの補助金申請の審査状況は

一般質問

3月10日、11日には、8人の議員が質問を行いました



岩田 邦泰
市民クラブ

交通事故削減のため路面標示の見直しを

質問 交差点での注意喚起舗装の色を統一するとともに、二輪車の転倒事故を防止するためにも、滑りにくい素材としてはどうか。また、車道の自転車通行がより安全になるよう、矢羽根マークの設置を見直す考えはないか。

答弁 現在、路面舗装は、追突や出会い頭事故の削減対策は赤、歩行者の安全対策は緑に統一しており、今後塗り直す際には順次統一していく。なお、塗装には滑り抵抗値の高い資材を採用している。また、自転車通行空

間の確保については、道路の拡幅を伴うため早期整備が難しく、矢羽根標示による車道混在型としている。新規整備路線については、交通量や設計速度に応じ、自転車の通行を分離する自転車通行帯の設置を検討している。

その他の質問

- ① 音楽の都をキーワードに観光誘客を
- ② 堀留川水路の維持管理の対応は
- ③ いっちょお!の機能向上と周知拡大を



色が統一されていない注意喚起舗装

※いっちょお!…本市の土木スマホ通報システム



山崎 とし子
公明党

音楽療法のさらなる普及啓発を

質問 音楽プログラムを通してリハビリテーションを行う音楽療法は、福祉施設などで少しずつ広がっている。そこで、さらなる普及のため、音楽療法を取り入れたセミナーなどを開催してはどうか。

答弁 音楽療法には、不安や痛み軽減、癒やしの効果があるとされている。老人福祉センターいたやで、元年度に音楽療法士によるボイストレーニング講座を開催したところ、25人の定員に対して51人が受講し、講座終了後も同好会活動を行っている。

その他の質問

- ① 保育施設周辺へキッズゾーンの設定を
- ② 災害時にもオーラルフレイル予防対策を
- ③ 高齢者緊急通報システムの利用状況は



高齢者緊急通報システム機器

※オーラルフレイル…嚥む・飲み込む・話すなどの口腔機能が衰えること



井田 博康
自由民主党浜松

遠州鉄道高架橋の早期耐震化を

質問 本市の主要道路である市道曳馬中田島線の上を通る遠州鉄道の高架橋は、八幡駅以南で耐震補強されていない所がある。そこで、早期に耐震化工事を実施する考えはないか。

答弁 市道曳馬中田島線直上の第一期高架化事業は、昭和61年度に整備されており、橋脚などは阪神淡路大震災前の耐震基準により施工されていることから、鉄道事業者は、橋脚などの耐震化工事や剥落防止工事を進めている。耐震補強工事が未施工となっている八幡駅

については、早期の防災・減災対策の必要性から、2年度に鉄道事業者が詳細な設計を実施し、設計完了後、バリアフリー化整備とあわせて、速やかに工事が着手されるよう、鉄道事業者と調整していく。

その他の質問

- ① 感震ブレイカーの普及促進を
- ② 東区・南区にも校外適応指導教室を
- ③ 浜松まつり活性化にまつり会館の活用を



浜松まつり会館



花井 和夫
自由民主党浜松

SDGs推進につながる報徳の精神の継承を

質問 本市の発展に大きな役割を果たし、地域の個性あるSDGs推進にもつながる報徳の精神をどう捉えるか。

答弁 本市では、SDGs未来都市計画を策定し、2030年を見据えた取り組みを推進している。計画では、浜松が「五十年、八十年先の『世界』を富ます」をタイトルとしており、これは、報徳の精神を信奉し、生涯を通じて将来を見据えた治水事業に尽力した郷土の偉人である金原明善翁を紹介した平成30年1月の安倍首相の施政方針

演説の一節をもとにしたものである。

将来を見据えるという点で、報徳の精神はSDGsの理念と通じるものであり、こうした精神を受け継いでいくことにより、本市の持続可能な発展につなげていく。

その他の質問

- ① 東京パラ大会のトルシーダの取り組みは
- ② 災害ボランティア受援体制の一層強化を
- ③ 三方原スマートICアクセス道の進捗は



一層の利用増が見込まれる三方原スマートIC

※トルシーダ…ブラジルパラリンピック選手団のサポートボランティア



鈴木 幹夫
自由民主党浜松

保・幼・小の連携で小学校への円滑な移行を

質問 幼児教育でも「主体的・対話的で深い学び」が重視される。そこで、幼児教育から小学校教育へ円滑に移行できるように、保育所・幼稚園・小学校の連携と研修をどのように深めていく考えか。

答弁 平成29年度に公立・私立園と保護者、小学校、学識経験者などで構成する幼児教育推進協議会を設置し、質の高い幼児教育や園と小学校の円滑な接続について協議している。元年7月には、教職員用指導資料の「幼児期に育てたい力」を作成

して活用しており、引き続き幼児期におけるコミュニケーション能力の向上に努めていく。また、地区ごとに連絡会やワークショップ型研修などを開催し、幼児期からのつながりのある教育・保育活動への理解を深めていく。

その他の質問

- ① 教育分野でのICTの積極的な活用を
- ② 自己肯定感を高めるキャリア教育実践を
- ③ 防災ノートでさらなる防災教育の推進を



市内小・中学校で配付されている「防災ノート」



小泉 翠
自由民主党浜松

子供たちが多くのスポーツに触れる機会を

質問 本市のスポーツ産業の活性化やスポーツ人口・関心層の拡大に向けて、子供たちの可能性を広げるため、多くのスポーツにかかわるきっかけづくりが必要と考えるがどうか。

答弁 元年にはラグビーワールドカップが大きな盛り上がりを見せ、また、今後はオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることから、大人から子供まで、市民のスポーツに対する関心が高まることが期待される。そこで、今が、子供たちが多くのスポーツ



交差点内ハンプ(通行する自動車の速度を抑制するため凸状に盛り上げて施工されている)

に接するきっかけづくりの好機と捉え、一つの会場で子供たちがさまざまな種類のプロスポーツ選手等と交流し、競技を体験できるように、各種競技団体の統括する体育協会と連携し、検討していく。

その他の質問

- ① 民間団体と連携し水防活動の強化を
- ② 不妊治療に対する積極的な支援を
- ③ 交差点内ハンプの効果と今後の設置は



稲葉 大輔
自由民主党浜松

多様性を生かすイエナプラン教育の導入を

質問 オランダで取り入れられ、異学年合同での対話をベースに、主体的な自立学習、協働学習などを行うイエナプラン教育に対する考えと、導入可能性について伺う。

答弁 教育制度の違いから、イエナプラン教育をそのまま取り入れることは難しいが、学校が児童・生徒の実態や地域性を生かしつつ、イエナプラン教育の目指す方向や考え方を取り入れた教育活動を展開することは、これからの教育に求められている多様性を認めた個

別最適な学びの実現につながるものと考え。そこで、こうした考えを念頭に、校長の裁量により、総合的な学習の時間などで異学年集団による教育活動が実施できるよう後押しするとともに、他都市を参考に研究していく。

その他の質問

- ① デジタル・スマートシティの推進体制は
- ② 健康寿命とたばこ税収入の相関関係は
- ③ 下水道処理施設の季節別運転の実施を



水産資源回復策の実施が望まれる浜名湖



太田 康隆
自由民主党浜松

新東名浜松・浜北IC周辺へ道の駅の設置を

質問 浜北副都心にぎわい協議会から、道の駅基本構想の策定を求め、構想の策定と事業化に向けた市の支援に対する考えはどうか。

答弁 物販・飲食などの地域振興施設の整備は、民間での整備・運営を前提とした収支の見きわめが重要であるため、採算性を確保した上で道の駅としてのあり方を検討することとなる。そのため、基本構想の策定や国庫補助金の活用は、民間の事業計画が具体化した段階で検討していく。

今回の提言書は地域の貴重な意見と受けとめており、支援策として、提言の実現可能性について、専門的知見を有する開発事業者の意見やアイディアを求めるサウンディング型市場調査などを実施したいと考えている。

その他の質問

- ① 地域活動支援により超高齢社会へ対応を
- ② デジタル手法成立による影響は
- ③ 学校施設長寿化計画策定の考え方は



新東名高速道路(浜松・浜北IC周辺)

特別委員会の活動状況

令和元年度の活動状況を報告します。

行財政改革・大都市制度調査特別委員会

◆区制度の検討

初めに住民投票の結果について、平成33年1月1日までに3区案で再編を行うことは反対が多数、平成33年1月1日までに再編を行うことへの賛否は拮抗とする当局としての分析の説明がありました。次に、検討資料として要求した、合併以降の組織改正、定員適正化計画の実施状況、情報通信技術の活用、区の事務分掌条例制定の状況、外部団体との協定等一覧について、当局から説明がありました。また、当局からは、行政区再編の議論を進めるためとして、北遠と西遠の2区とし、北遠に常駐する担当副市長を置く、新たな再編案が示されました。その後、遅くとも年内までに再編の有無について結論を出すためとして、自由民主党浜松から行政区再編協議の行程案が示され、協議の結果、行程を了承しました。なお、行程1、合併から現在までの確認と、行程2-1、区の定義については協議を終了しました。

◆行財政改革の推進

当局から、平成30年度までの行政経営計画の実績報告と2年度からの行政経営推進プランについて説明があり、委員からは実施体制などについて意見が述べられました。

◆大都市共通の課題

政令指定都市が共同して行う要望活動について協議しました。

地方創生調査特別委員会

◆総合戦略

当局から、本市の第2期「やらまいか」総合戦略の策定に当たり、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえて、関係人口の拡大・創出や「サエティー5.0、SDGs」などの新たな視点を導入するとともに、強化する7つのポイントを定めて地方創生の推進を図るとの説明がありました。人口減少問題に関して、特に若い世代の首都圏への人口流出がふえており、それに対する方策について委員から種々質疑・意見が述べられました。

◆中心市街地活性化

当局から、歩行者通行量、公共施設入場者

大型公共施設建設調査特別委員会

◆四ツ池公園スポーツ施設

当局から、整備方針は2年度末を目途に策定し、陸上競技場・浜松球場の順に必要な機能・規模・立地等を確認するとともに、どこに何をつくるかを決定していく。策定後に本計画の検討に着手し、マーケティング調査や周辺環境調査の結果をもとに、具体的な規模や形態等を議論していきたいとの説明がありました。また、公園の緑地部分を保全し、今後の整備を現在のスポーツエリアに限定することを確認したほか、陸上競技場の他都市類似事例について調査結果の報告を受けました。

◆新病院建設

浜松医療センターの経営状況について、前年度に比べ、収入・支出ともに増加しているが、支出が収入を上回るため減益となっている。医師等の増員や高額薬品の使用増が要因だが、収支差は徐々に減少傾向にあるとの説明がありました。

◆新清掃工場建設

新清掃工場から発生する余熱エネルギーを利用した付加価値事業の募集などについて説明がありました。



四ツ池公園陸上競技場

特別委員会の活動状況

交通政策・大規模災害 対策調査特別委員会

◆道路ネットワーク

拠点ネットワーク型都市構造の実現を目指して、拠点間を移動しやすいみちづくりなどを基本方針として掲げている本市のみちづくり計画について協議しました。

◆交通安全対策

当局から、交通事故ワースト1脱出作戦について、2年末までに年間の人身交通事故件数が6000件を下回することを目標に事業を展開しているとの説明があり、委員からは、事故の約7割が追突や出会い頭の事故であるため、啓発だけでなく、交差点改良などハード整備も進めるべきとの意見がありました。

◆公共交通

総合交通計画の見直しに関し、委員から、都田・三方原地域の通勤時間帯の渋滞の緩和の取り組みをただしたところ、当局から、時差出勤などについて、業務への影響も踏まえつつ、立地企業へ協力を依頼しているとの説明がありました。

◆大規模災害対策

防潮堤整備関連事業や災害情報伝達手段整備事業などについて協議しました。



防潮堤(舞阪工区)

用語解説

※1 スマート農業（2ページ）

担い手の高齢化が進み、労働力不足が深刻となっている日本の農業において、ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、農作業の省力化、軽労化を実現する新たな農業のこと。

※2 キッズゾーン（7ページ）

園児などの安全を確保するため、保育施設周辺の道路でドライバーに注意喚起などの対策を講じる重点区域。主に小学校周辺に設定されている「スクールゾーン」に準じて、路面塗装やガードレールの設置などの安全対策を実施するよう国が各自治体へ求めている。

※3 ソサエティー5.0 (Society 5.0)（10ページ）

内閣府が提唱している未来社会のコンセプトのことで、社会におけるさまざまな情報がセンサーを通じて集められ、そのビッグデータをもとに、人工知能（AI）が解析して人々の活動に還元される。

例えば、これまでは、人がみずからインターネットにアクセスして情報を得たり、ナビゲーションシステムを操作して車を運転していたが、ソサエティー5.0の社会では、AIが人に提案したり、自動走行車による移動が可能になると考えられている。

資産等報告書を公開します

2年4月に市議会議員から提出された「資産等補充報告書」、「所得等報告書」、「関連会社等報告書」を、6月30日から本庁市政情報室や各区役所の市政情報コーナーで公開します。平成28年から元年に市議会議員から提出された報告書は、議会事務局で閲覧できます。

なお、「所得等報告書」は、前年1年間を通じて議員であった者に提出を求めたものですので、昨年4月7日の選挙で新たに当選した議員からの提出はありません。

詳細は議会総務課へ

☎053145712505

政務活動費収支報告書等の の写しを閲覧できます

元年度5月から3月分の政務活動費収支報告書及び証拠書類の写しを、非公開情報を除き、6月30日から議会事務局で閲覧できます。

平成28年度から平成31年度4月分の書類の写しも同様に議会事務局で閲覧できますが、平成27年度の書類の写しについては、公開に当たり、情報公開請求が必要です。

詳細は議会総務課へ

☎053145712505

発行／浜松市議会〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2
編集／浜松市議会事務局
印刷／株式会社アプライズ

浜松市議会では、インターネットによる本会議・委員会のライブ中継と録画配信を行っています。このほか、市議会ホームページでは会議録（本会議・委員会）なども掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/gikai/>



「目には見えないモノを描く」ことに挑戦し続ける浜松市出身の日本画家・仲山計介^{なかやまけいすけ}（1948～）。40年以上に渡り描き続けている「エオンタシリーズ」（「エオンタ」はギリシャ語で「存在するモノ達」の意）はまさにその象徴であり、仲山の代名詞となっている。

仲山は、日本画家でありながら、その制作工程の中で下絵や大下図を描くことはほとんどない。アクリル樹脂を接着剤代わりに用いた絵の具を、手のひらや板等でそのまま画面に乗せていく。そうした手や体全体の動きから偶発的に生じた色や形、模様等をもとに、そこに思い浮かんだ風景を絵筆で丁寧に描いていく。

本作《春陽山水^{しゅんやうさんすい}》もそうして生まれた作品の一つ。「手仕事」によって生み出された絵の具のマチエールを、鮮やかな青で描かれた海に浮かぶ「島」として残し、その周囲に深い緑が印象的な山々や春を感じさせる桜を配する。

仲山は、「島」をテーマとした風景を俯瞰する構図で描くことが多く、本作にもその特徴が垣間見える。また、日本画の伝統的なテーマと言える「四季」を感じさせる作品も数多く発表しており、その意味で本作は仲山の画歴を象徴する1枚と言えよう。

仲山の描く「島シリーズ」、「四季シリーズ」の風景の中には、不思議とどこかで見たことがある風景だと錯覚するものが多くある。仲山の言葉をかりて言えば、その錯覚は、私たち自身の中に眠る「日本人として受け継がれてきたDNA」によって呼び起こされていることなのかもしれない。

浜松市美術館 「仲山計介展 エオンタ 存在するモノ達」
6月14日（日）まで開催

紙上美術館
No.169



再生紙を使用しています

今後の議会活動の予定

〔5月〕
11日 各常任委員会
13日 議会運営委員会
15日 議会運営委員会
20日 本会議（5月定例会
開会・議案上程）

〔6月〕
4日 議会運営委員会
5日 本会議（代表質問）
8日 本会議（一般質問）
9日 各常任委員会
16日 議会運営委員会
17日 本会議（採決・5月
定例会閉会）

紙面に関するお問い合わせ
浜松市議会事務局 調査法制課
☎053-457-2513